

生成AI技術活用推進に向けた実証実験に係る情報提供依頼(RFI)
質問及び回答

No	質問内容	質問の意図	回答
1	生成AIソリューション利用時、回答データ基として、札幌市様で使用するマニュアルやQ&Aリストを活用することは可能でしょうか。	業務利用をする場合に、本番環境を想定として、実証実験を実施できるかを確認するためでございます。	実施要領3(4)①の範囲の情報は活用可能という想定でございます。 なお、本RFIの情報提供で具体的に活用されたい情報をお示しいただければ、本市内部で事業所管課と活用可否の協議を実証実験前に行いたいと考えております。
2	実証実験中は、無償での実施とのことですが、ご準備できる範囲に限度(利用人数・チューニング・期間等)がある可能性がございます。実証実験の環境は、本番環境と異なるという前提でご評価頂けるものでしょうか。	無償対応で、実施できる範囲があるということをご理解いただいた上で、実証実験を実施する想定なのか確認するためでございます。	ご認識のとおりです。
3	本実証実験では、本番環境を準備した際の費用提示は不要の認識で合っておりますでしょうか。	利用人数などの前提が現時点ではないため、費用算出が難しいためでございます。	実証実験のご提案時において、本番環境の導入にかかる費用提示は、必須要件ではありませんが、有用性が認められた場合は、庁内で本格導入を予定していますので、その際には費用提示のご協力をお願いしたいと考えております。
4	有用性が認められた場合は、庁内で本格導入を予定されているとのことでしたが、本年度の予算はいくらでございますでしょうか。	実証実験に伴うご提案に際して、事前に社内で本格導入に向けた費用感を考える必要があるためでございます。	今回の情報提供依頼は、導入規模や金額感などを限定せずに広く情報提供を募るものですので、予算規模はお示しいたしません。
5	札幌市生成AI利用指針.pdfの中の重要性の定義について、貴市独自の定義でしょうか？総務省セキュリティガイドライン改訂版に準ずる定義でしょうか？	生成AIの具体的な活用方法をご提示するために、扱える情報の内容を具体的に把握させていただきたいです。総務省の自治体機密性を確認すると1～3Aと、数字が高くなるにつれて機密度が上がる情報ですが、貴市の重要性は3～1と、数字が低くなるにつれて機密度が上がるように見受けられたためです。	札幌市情報公開条例第7条に定める非公開情報を除き、また生成AIに入力した情報が本市の意図に関係のないAIの学習(再学習を含む)に使われないことを前提として、「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン(令和7年3月版)」における機密性1～3Cに相当する情報資産を取り扱えるという想定です。 なお、「札幌市生成AI利用指針」は直近で内容を改定し、名称も「札幌市生成AI遵守事項」へ変更しております。情報提供依頼のページにて公開いたしますので、あわせてご確認ください。
6	『札幌市生成 AI 利活用推進支援業務』で作成された札幌市生成 AI 導入ロードマップは今回の要件に関わりませんか？	貴市の方向性に沿った提案をさせていただきたいため。	当該業務の調達は中止したため、ロードマップは作成されていません。 なお、本市の方向性は「札幌市生成AI利活用方針」として整理しております。情報提供依頼のページにて公開いたしますので、あわせてご確認ください。

生成AI技術活用推進に向けた実証実験に係る情報提供依頼(RFI)
質問及び回答

No	質問内容	質問の意図	回答
7	「生成AIを活用することで解決可能」と仮説を立てている貴庁内の業務課題と、RAG等に利用可能と考えている貴庁内固有データのリスト等については、公開されますでしょうか。もしくは、それらを貴庁職員様にヒアリングした上での提案が前提でしょうか。	現場の業務課題と、存在するであろうデータを想像しての検討では精度が低く、的外れまたは実現不可能な提案をしてしまうことを避けるためです	今回のRFIは、あまり前提条件を設けない形で幅広く情報提供をいただきたく実施するものであり、具体的な業務課題や固有データのリストは公開いたしません。 また、RFIへの回答に当たっては、本市職員へのヒアリングもご提案の前提とはしておりません。そのため、実現性や精度にかかわらず、実施要領の内容を踏まえた幅広いご提案をいただきたく存じます。 RFIでご提案いただいた内容を基に、実現性や本市の課題解決にマッチするか等を事業所管課と検討の上、具体的なテーマを設けて実証実験の公募を行う予定です。
8	『後日「札幌 DX ラボ」を通じて、テーマ設定型で受け付ける』とありますが、今回の情報提供を行った企業ではなく、別途公募型で改めて別の企業が担当する可能性もあるということでしょうか。また、札幌DXラボは閉鎖されたようですが、「SAPPOROCO-CREATIONGATE」等が対象でしょうか	情報提供にどこまで具体的な実現方法を記載するべきかを見極めたいです	ご認識のとおりです。 また、実証実験の申込受付につきましては「SAPPORO CO-CREATION GATE」を窓口として実施する予定です。
9	実証実験の実施にあたり、ネットワーク環境に関する制約や制限事項(例:インターネット接続の可否、閉域網の使用要件など)はございますか。	ネットワーク構成の制約が、実証実験時のシステム設計や運用方法に影響する可能性があるため。	インターネットに直接接続可能なネットワーク環境を想定しています。(LGWAN接続系及びマイナンバー利用事務系での利用は想定していません。) 全般的な話として特別な通信制限は設けておりませんが、個別のサイトや通信内容に関して通信制限がかかる可能性はあります。もし貴社が利用されるサービスで特別な通信要件がある場合は、ご提案時に明記いただければ、通信の可否を確認するようにいたします。
10	生成AIモデルの使用に関して、利用に制限のあるモデルや禁止されている利用形態(例:特定ベンダーのモデルの利用制限など)はございますか。	利用可能なAIモデルの範囲を把握することで、実証実験におけるモデル選定や設計に支障が出ないようにするため。	以下の条件を満たしていれば、利用モデルの制限はありません。 ○生成AIに入力した情報が、本市の意図に関係のないAIの学習(再学習を含む)に使われないこと ○生成AIに入力した情報が、生成AIモデルの提供者及びそのモデルを利用したサービスの提供者のサーバ等に、本市の意図に関係なく保存されないこと ○生成AIモデル及びそのモデルを利用したサービスについて、合意管轄裁判所を日本国内、準拠法を日本法に設定できること

生成AI技術活用推進に向けた実証実験に係る情報提供依頼(RFI)
質問及び回答

No	質問内容	質問の意図	回答
11	令和6年3月に整備された、チャット型生成AI環境の利用状況について把握されている範囲でお教えください。 ・活用されている職員の割合 ・多く活用している年齢層 ・多く活用している職責層 ・チャット型生成AIをどのように活用している事が多いか 例)情報収集、文章例の作成、データ・文章の整形/推敲、文章の要約等 ・目的のアウトプットを得るためのプロンプトの共有状況	既存の生成AI環境の利用状況を具体的に把握し、今回の実証実験の方向性を検討するための基礎情報を得たいため。 より具体的には、以下の点を明らかにしたいと考えています。 現状の浸透度合い: どの程度の職員がすでに生成AIに触れているのかを知ることで、今後の組織全体への展開におけるポテンシャルや課題を予測するため。 利用者の特性: どのような属性の職員が積極的に利用しているのかを把握することで、今後の研修対象者や推進リーダーの選定、活用促進策の検討に役立てるため。 主な利用目的: どのような業務に生成AIが活用されているのかを知ることで、今回の実証実験で注力すべき業務領域や、提供すべき機能の検討に役立てるため。	活用状況は以下のとおりです。 ○1月16日～4月15日の3か月間の利用状況 1. 全体利用率:約21.9% 2. 1日のユニークユーザの割合:おおよそ2～3% 3. 職責別の利用率 マネージャー層(課長職以上):約27.8% リーダー層(係長職):約34.7% メンバー層(一般職):約22.5% その他(教員・会計年度任用職員等):約4.4% 4. 利用者の中での勤続年数別の割合(正職員のみ対象) 5年以内:約14.5% 6～15年:約40.7% 16～25年:約24% 26年以上:約20.8% ○研修開催時の利用者アンケートにて寄せられた活用用途の例 ・文章関係(草案作成、添削、要約、翻訳) ・情報収集(検索、考え方の整理) ・コーディング(マクロや関数の作成・エラー対処) ・アイデア、企画立案支援 ・画像生成 ・データ分析 ○プロンプトの共有状況 庁内向けのコラム及び研修で基本的なプロンプトのサンプルを共有している。
12	令和6年3月に整備された、チャット型生成AIの利活用状況について、RFI実施要領に記載以外の課題に感じていることなどはございますでしょうか。	上記の質問にも関連しますが、市が既に認識している課題を把握することで、実証実験で取り組むべき優先順位や、特に解決を目指したいポイントを明確にするため。具体的な課題意識を共有することで、より本質的なニーズを理解するため。	以下の点は現行環境における課題であると認識しています。 ・利用率は2割程度、1日のユニーク利用率は2～3%程度と、本格的に利用する職員が少ないこと。 ・詳細な利用データが取得できず、活用事例の掘り下げ・展開が進んでいないこと。 ・テキストバッチや個別ファイルの添付等、本市固有情報を利用するシステム上の手段が限定的であること。 ・システムとして、ナレッジ共有や他システムとの連携機能を有していないこと。
13	実証実験の開始時期について、令和6年6月の着手が必須条件となりますでしょうか。それとも、開始時期にある程度の柔軟性(例えば8月頃の開始)を持たせていただくことは可能でしょうか。	実証実験に適切な体制・技術環境で臨むために、準備期間に一定の柔軟性を確保しておきたいと考えております。	詳細なスケジュールは別途お知らせまいります。実証実験実施事業者の募集を行う時期が令和7年6月ごろを想定しています。実際に実証実験を着手するのはその募集が終了し、事業者を決定してからとなるため、令和7年の夏以降になると考えています。
14	市役所内のデータはどのような形で格納されていますか。Microsoft 365、Google Workspace、その他のサービスなど、使用している主要なデータ保管環境を教えてくださいませんか。	当方が実証実験に提供予定のAIサービスが連携可能なデータ保管環境かどうかを判断するため、対応すべきクラウド環境を把握したいと考えております(ご利用環境によっては、技術的な対応にお時間を要し、実証実験期間中の提供が難しくなる可能性もございます)。	主たる保存領域はGoogle Workspaceで利用するGoogleドライブですが、一部は各種業務システム(オンプレミス/SaaS等)、オンプレミスのファイルサーバ、紙媒体等様々な形式で格納されています。このほか、明文化されていない知識やノウハウも存在していると考えます。なお、個別調整が必要になりますが、実証実験においてはGoogleドライブに格納可能な形式に変換して利用することも可能と考えています。

生成AI技術活用推進に向けた実証実験に係る情報提供依頼(RFI)
質問及び回答

No	質問内容	質問の意図	回答
15	市役所内で主に扱われているファイル形式にはどのようなものがありますか。 例:Microsoft Office形式(Word, Excel, PowerPoint)、Adobe PDFなど	当方が実証実験に提供予定のAIサービスが対応可能なドキュメント形式であるかを事前に確認させていただきたいためです。	全庁的に使われている代表的なものを挙げますと、テキストファイル、csv、PDF、メールデータ、MS Office形式(Word, Excel, PowerPoint)、Google Workspace形式(ドキュメント、スプレッドシート、スライド)です。このほか部署によってはDocuWorks文書(.xdw)、CADデータ、音声・動画ファイル等を扱っています。なお、すべての形式に対応できる必要はありませんが、可能な場合は対応可能なファイル形式等を明示いただけますと幸いです。
16	現在の職員認証はどのような方式で実施されていますか。 例:Microsoft Entra ID、Google Cloud Identity、独自認証など	システム連携やアクセス制御設計の際に、既存の認証方式との整合性が取れるかを確認させていただきたいためです。	個別調整が必要ですが、Google Cloud Identityによる認証は可能です。
17	実証実験の対象ユーザーは何名程度を想定されていますか。また、対象範囲を限定する場合、部署単位でのご利用を想定されていますか、それとも個別ユーザー単位でしょうか。	想定されているスケールや管理単位を把握することで、対応工数や運用設計を適切に検討・調整するためです。	規模や人数は、実証実験で設定するテーマ・解決したい課題によるため、現時点では具体的な想定はありません。ただし、組織としての活用を目的とすることから、部署単位での利用となるものと考えています。
18	実施要領 3 (3) 回答内容のファイル送付時は、データ転送用サイトの利用でも問題ないでしょうか。 貴市にご確認いただくためにダウンロードしていただく必要がございます。	データ容量が大きくなる可能性があるため。	問題ありません。
19	実施要領 3 (4) 「本市固有情報を取り扱う」との記載がございますが、その情報はどのような形式でご提供いただけるのでしょうか。 ご提供いただいたデータから、テキスト情報が抽出できるデータ形式でしょうか。	貴市固有情報を取り扱うために追加学習が必要な場合、ご提供いただくデータからテキスト情報が抽出できないと難しいため。場合によっては人力で文字起こしをする必要があり、その作業工程を想定する必要があるかどうかをお聞かせいただきたいです。	全庁的に使われている代表的なものを挙げますと、テキストファイル、csv、PDF、メールデータ、MS Office形式(Word, Excel, PowerPoint)、Google Workspace形式(ドキュメント、スプレッドシート、スライド)です。このほか部署によってはDocuWorks文書(.xdw)、CADデータ、音声・動画ファイル等を扱っています。このほかにも紙媒体や各種業務システム等に保管されている情報、明文化されていない知識やノウハウも本市の固有情報に含まれるものと考えています。なお、実証実験段階では人力での文字起こしまでの対応は想定していませんが、AIを利用した効率的なテキスト情報の抽出が可能であれば、ご提案を拒むものではありません。

生成AI技術活用推進に向けた実証実験に係る情報提供依頼(RFI)
質問及び回答

No	質問内容	質問の意図	回答
20	<p>実施要領 項番外【本市におけるこれまでの生成AI活用に関する主な取組状況】</p> <p>令和6年3月より、チャット型生成AIを利用できる環境を整備されたとのことですが、こちらは「インターネット接続端末で利用している」との理解でよろしいでしょうか。</p> <p>本実証実験においても、インターネット接続端末での操作検証を想定していると理解してよろしいでしょうか。</p>	<p>現在と実証実験時の、両方の利用環境を確認させていただきたいです。</p> <p>それにより、提供の可否判断の参考とさせていただきます。</p>	<p>現在チャット型生成AIを利用できる環境は、インターネットから分離されたネットワーク専用の端末を利用するものです。</p> <p>実証実験を実施する環境は、上記とは別の、インターネット接続端末を利用するものです。</p> <p>本件情報提供にあたりましては、利用環境としての現行環境の考慮は不要ですが、特別な利用環境の前提条件がございましたら、ご提案時に明示いただければと思います。</p>
21	<p>組織での生成AIの実践的な活用に向けて</p> <p>本実証実験の対象範囲である「組織での活用(※右下部分)」についてお伺いいたします。</p> <p>生成AIを活用して得られた「個人のナレッジ」を組織として共有し、別のかたがそれを参考(ベース)に、より効果的に生成AIを使用する、といった使い方であれば、「組織での活用」とご判断いただけますでしょうか。</p>	<p>「組織での活用」の具体的な使い方を明確にしておきたいです。</p> <p>生成AIシステムを使用するのは「個人」ですが、それを個人内で完結するのではなく、「組織として共有ができる」ことで、ご要望を満たしているかどうかをお聞かせいただきたいです。</p>	<p>具体的な提案内容を拝見しないと判断ができませんが、例えばプロンプトの組織での共有のような、単なるナレッジ共有による「個人作業の効率化」に留まる生成AIの使い方は「組織での活用」には該当しないと考えます。</p> <p>組織としての業務の標準化・効率化・高度化を達成できる使い方を想定して「組織での活用」と記載しています。</p>
22	<p>今回の実証実験として、具体的に設定されているKPIはありますか？</p> <p>提案内容に対する評価基準などあれば、教えてください。</p>	<p>実証事件としての採否、ひいては本格導入への採否について、具体的に何が実現できれば良いのか、判断基準をお聞かせください。</p>	<p>本件RFIは、幅広い観点での情報・ご提案をいただくことを目的としており、ご提案内容に対する評価基準を事前には定めておりません。</p> <p>募集締め切り後、いただいた情報をもとにどのようなテーマ・KPIで実証実験を実施するのかを、事業所管課とも協議の上で決定する予定です。</p>
23	<p>上記についてKPIが「職員の作業量削減」とした場合、現時点での作業量測定などにご協力いただけるのでしょうか。</p>	<p>KPIの設定内容によりませんが、実証実験の前後での変化を確認する場合、「前」の情報は実施事業者だけでは取得が難しいと考えます。</p> <p>実施にあたり、貴市職員様のご協力がどの程度得られるか、ご想定をお聞かせください。</p>	<p>上述のとおり、本件RFIではKPIを設定していませんが、実証実験時には、個別調整が必要になりますが、実証実験の一環として作業量調査を実施することは可能と考えます。</p>
24	<p>RFI実施要領の、1 情報提供依頼の目的の中で、「生成AIの活用が資料要約や誤字チェックなど、個人作業の範囲に留まっており、組織内での活用、展開につながっていない」という記載がございました。</p> <p>現在お使いの生成AIは、主にテキストベースの生成AIで、札幌市様がお持ちの固有情報を活用できないものと考えてよろしいでしょうか。また、画像を生成するAIはお使いでしょうか？</p>	<p>現在お使いの生成AIは、札幌市様がお持ちの固有情報を活用できないものと拝察いたしましたので、この点を含め現在お使いの生成AIについて可能な範囲で確認したいと考えております。</p>	<p>個別にファイルを添付したり、生成AIへの指示文章に含めたりする形で本市固有情報を利用することは可能です。</p> <p>また、現行環境ではMicrosoft365 Copilot Chatの画像生成機能を利用できます。</p>

生成AI技術活用推進に向けた実証実験に係る情報提供依頼(RFI)
質問及び回答

No	質問内容	質問の意図	回答
25	RFI実施要領や、「組織での生成AIの実践的な活用に向けて」という資料の中で、現在の生成AIの活用が、組織内での活用・(横)展開につながっていないという記載がございました。横展開につながらないことで、どのような課題やお困りごとがあるかをお教えいただけますでしょうか。	現時点でのお困りごとのイメージを把握したいと考えております。	<p>以下のような課題があると認識しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在利用するチャット型生成AIシステムが、基本的には個人作業を前提としていること。 ・本市固有情報の利用手段が限られており、必要な情報をすべてシステム上で扱うことが困難であること。 ・システムが各部署の業務フローから独立しており、業務上生成AIを利用する必要性が薄かったり必要以上に画面を遷移することが手間に感じられたりして、生成AI利用に対する心理的なハードルとなる部分があること。 ・生成AIというツールに対する職員の期待値がまちまちであること。特に、何ができて何ができないか、各部署の業務課題の解決にどう使えるのか使えないのかという見定めができていないこと。 ・紙媒体や紙をスキャンしただけのドキュメント類、見た目の体裁を優先したExcelシートなど、AIが活用可能なデータが整備されていないこと。また、全庁的なデータ共有が行われていないこと。
26	No2の質問に関連して、組織内での活用・展開がなされている理想的な活用状況について、具体的なイメージや事例などがあればご共有いただけますでしょうか？	理想とされている生成AIの活用のイメージを意識したいと考えております。	生成AIの性能を発揮するのに適した作業領域において積極的に業務フローに取り込んで活用することで、システムやAIに任せられる作業を職員からできる限り切り離し、人間である本市職員が取り組むべき仕事に注力できるような業務体系を構築し、安定的に運用することが考えられます。
27	今回のRFIの回答として、検討されるにあたって重視されている情報があればお教えいただけますでしょうか。体制、利用技術、利用環境など。	RFIへのご回答として重視させていただきます。	個人の作業ではなく組織の業務をターゲットに、庁内各部署が抱える業務課題を解決できる生成AIの活用につながる情報をご提供いただけますと幸いです。
28	今回の実証実験で、生産性や組織内での活用の度合いなど、実証実験の成否を判定される際の指標や判断基準のようなものがあればお教えいただけますでしょうか？	実証実験のゴールについてイメージされているものや、優先的に達成したい課題があれば共有させていただきたいと考えております。	あまり前提条件を設けない形で幅広く情報提供をいただきたく実施する観点から、RFI時点では実証実験における具体的な指標は考えておりません。いただいた情報を参考にして、実証実験実施の募集を行う際にお示しする想定です。
29	RFI回答後、実証実験を開始されるのはいつ頃を想定されておりますでしょうか？	スケジュールの確認となります。	詳細なスケジュールは別途お知らせまいります。実証実験実施事業者の募集を行う時期が令和7年6月ころを想定しています。実際に実証実験を着手するのはその募集が終了し、事業者を決定してからとなるため、令和7年の夏以降になると考えています。
30	生成AIを活用した取り組みや個人作業の事例があれば、可能な範囲で教えていただけますでしょうか。	現在の活用状況や可能性を把握し、RFIでの情報提供内容を具体的にするため。	<p>職員向け研修を開催した際のアンケートにて寄せられた個人作業での活用例は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章関係(草案作成、添削、要約、翻訳) ・情報収集(検索、考え方の整理) ・コーディング(マクロや関数の作成・エラー対処) ・アイデア、企画立案支援 ・画像生成 ・データ分析

生成AI技術活用推進に向けた実証実験に係る情報提供依頼(RFI)
質問及び回答

No	質問内容	質問の意図	回答
31	現在、札幌市における生成AIの活用が「個人作業」に留まっている要因として、どのような課題があるとお考えでしょうか。 (例:技術的な課題、データの未整備など)	技術や運用、またはデータ状況等の背景を把握し、どのような支援が必要か情報提供内容へ反映させるため。	以下のような課題があると認識しています。 ・現在利用するチャット型生成AIシステムが、基本的には個人作業を前提としていること。 ・本市固有情報の利用手段が限られており、必要な情報をすべてシステム上で扱うことが困難であること。 ・システムが各部署の業務フローから独立しており、業務上生成AIを利用する必要性が薄かったり必要以上に画面を遷移することが手間に感じられたりして、生成AI利用に対する心理的なハードルとなる部分があること。 ・生成AIというツールに対する職員の期待値がまちまちであること。特に、何ができて何ができないか、各部署の業務課題の解決にどう使えるのか使えないのかという見定めができていないこと。 ・紙媒体や紙をスキャンしただけのドキュメント類、見た目の体裁を優先したExcelシートなど、AIが活用可能なデータが整備されていないこと。また、全庁的なデータ共有が行われていないこと。
32	市固有情報を活用した生成AIの実践的な活用を検討されているとのことですが、どのような情報を対象としていますでしょうか。 (例:法令、マニュアル、Q&Aリストなど)	対象情報の範囲や条件を元に、RFIでの情報提供内容を適切に設計するため。	実施要領3(4)①の範囲の情報は活用可能という想定で、現時点では対象情報の範囲は決めておりません。 なお、本RFIの情報提供で具体的に活用されたい情報をお示しいただければ、本市内部で事業所管課と活用可否の協議を実証実験前に行いたいと考えております。
33	札幌市生成AI利活用方針における「内部事務を皮切りに共通的な業務領域・個別の業務分野の両面において生成AIの活用に取り組む」という部分の、内部事務から活用を開始するという方針に関連して、内部事務での特に効果が期待される業務や課題について教えてくださいいただけますでしょうか。	内部事務での活用可能性や業務内容を把握し、具体的な情報提供内容へ反映させるため。	今回のRFIは、あまり前提条件を設けない形で幅広く情報提供をいただきたく考えており、皆様から生成AIの活用で大きく改善が期待できるであろう業務領域をご提案いただきたいと考えております。
34	札幌市生成AI利活用方針における「中長期的な視野で生成AIのよりよい活用の在り方を検証していく」という方針に基づき、長期的に期待される成果や課題について教えていただけますでしょうか。	長期的な視点での課題や期待を理解し、より適切な情報提供へつなげるため。	長期的に期待する成果として、生成AIの性能を発揮するのに適した作業領域において積極的に業務フローに取り込んで活用することで、システムやAIに任せられる作業を職員からできる限り切り離し、人間である本市職員が取り組むべき仕事に注力できるような業務体系を構築し、安定的に運用することが考えられます。 長期的な課題としては、以下が挙げられます。 ・一度業務体系を構築してそれで終わりではなく、継続的に見直し・改善を実施する体制や組織マインドを整えられるか ・目まぐるしく進歩する技術へのキャッチアップと業務への適用を考えられる体制を整えられるか
35	実証実験のゴールとしては、実証実験の結果を踏まえて令和7年度下期以降における、行政内部事務における生成AI活用を拡大するための計画作成を想定していますが、認識として合っていますでしょうか	実証実験のゴールによって、実施内容が変わってくるため	実証実験のゴールは、対象とした業務領域やテーマに関して、本格導入に値する生成AIの活用方法であるかを、事前に設定したKPI等の指標に基づいて評価・判断することです。 評価・判断の材料として、実証実験の結果を踏まえた生成AI利用拡大の計画を作成することも選択肢には入りうると思いますが、計画を作成すること自体はゴールにはならないと考えます。

生成AI技術活用推進に向けた実証実験に係る情報提供依頼(RFI)
質問及び回答

No	質問内容	質問の意図	回答
36	現在Copilotを利用されているとのことですが、実証実験中他の生成AIサービスを利用することは可能でしょうか	実証実験の対象によっては、生成AIサービスを変えて実施することにより有用性を示せる可能性があるため	はい、利用することは可能です。 なお、現在Microsoft365からGoogole Workspaceへの移行を行っており、Copilotを利用している環境は、実証実験においては利用不可であるご認識ください。一方で、Google Workspaceの生成AI関連の環境は利用可能性があります。
37	Copilot studioのライセンスは保有されていますでしょうか	実施内容の提案範囲を拡大することができるため	いいえ、現在は保有していません。
38	実証実験を実施する部門(人数)の想定はありますでしょうか	実証実験の実施内容、期間に影響を及ぼすため	規模や人数は、実証実験で設定するテーマ・解決したい課題によるため、現時点では具体的な想定はありません。
39	一部の札幌市生成AI利用ガイドライン群は公開されていますが、その他内容も開示いただくことは可能でしょうか。	貴市の現状ルールを把握しご提案範囲を定めるため	生成AI利用に関する本市のルールは現在公開している文書でご確認いただけるため、文書の追加公開は行いません。
40	実証実験の活用事例は、部署に特化した内容で行うのか、それとも職員全体が関わる業務で行うのか、現時点の想定をお教えてください	内容によって、実証実験での内容が変わってくるため	本件RFIの段階では、想定はございません。 ただし、組織としての活用を目的とすることから、実証実験では部署単位での利用となるものと考えています。
41	市の固有情報についてはOfficeファイルや、PDFファイルが対象でしょうか？それ以外の想定があれば教えてください	実証実験で利用する生成AIサービスに影響があるため	全庁的に使われている代表的なものを挙げますと、テキストファイル、csv、PDF、メールデータ、MS Office形式(Word、Excel、PowerPoint)、Google Workspace形式(ドキュメント、スプレッドシート、スライド)です。 このほか部署によってはDocuWorks文書(.xdw)、CADデータ、音声・動画ファイル等を扱っています。 このほかにも紙媒体や各種業務システム等に保管されている情報、明文化されていない知識やノウハウも本市の固有情報に含まれるものとして考えています。 なお、すべての形式に対応できる必要はありませんが、可能な場合は対応可能なファイル形式等を明示いただけますと幸いです。
42	個人の作業領域の活用に関する課題について教えてください(例、個人業務での活用ケースが想定できない、期待した回答精度にならないなど)	現状課題の詳細確認を踏まえて、ご提案したいため	以下のような課題があると認識しています。 ・現在利用するチャット型生成AIシステムが、基本的には個人作業を前提としていること。 ・本市固有情報の利用手段が限られており、必要な情報をすべてシステム上で扱うことが困難であること。 ・システムが各部署の業務フローから独立しており、業務上生成AIを利用する必要性が薄かったり必要以上に画面を遷移することが手間に感じられたりして、生成AI利用に対する心理的なハードルとなる部分があること。 ・生成AIというツールに対する職員の期待値がまちまちであること。特に、何ができて何ができないか、各部署の業務課題の解決にどう使えるのか使えないのかという見定めができていないこと。 ・紙媒体や紙をスキャンしただけのドキュメント類、見た目の体裁を優先したExcelシートなど、AIが活用可能なデータが整備されていないこと。また、全庁的なデータ共有が行われていないこと。